

令和 8 年 度

議 案 第 3 5 号

棚倉町下水道事業会計補正予算書

福 島 県 棚 倉 町

議案第 3 5 号

令和 8 年度棚倉町下水道事業会計補正予算（第 1 号）

（総則）

第 1 条 令和 8 年度棚倉町下水道事業会計の補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出の補正）

第 2 条 令和 8 年度棚倉町下水道事業会計予算（以下「予算」という。）第 3 条に定めた収益的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予算額）	（補正予算額）	（計）
	支 出		
第 1 款 下水道事業費用	336, 118 千円	120 千円	336, 238 千円
第 1 項 営業費用	317, 937 千円	120 千円	318, 057 千円

(資本的収入及び支出の補正)

第3条 予算第4条本文括弧書中、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額「58,691千円」を「63,527千円」に、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額「1,235千円」を「1,806千円」に、過年度分損益勘定留保資金「34,888千円」を「12,975千円」に、当年度分損益勘定留保資金「22,568千円」を「48,746千円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

(科 目)	(既決予算額)	(補正予算額)	(計)
	収 入		
第1款 資本的収入	125,632 千円	120 千円	125,752 千円
第4項 基金繰入金	630 千円	120 千円	750 千円
	支 出		
第1款 資本的支出	184,323 千円	4,956 千円	189,279 千円
第1項 建設改良費	14,920 千円	4,956 千円	19,876 千円

令和8年9月8日 提出

棚倉町長 宮 川 政 夫

令和8年度棚倉町下水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出

支 出			(単位：千円)		
款	項	目	既決予算額	補正予算額	計
1 下水道事業費用			336,118	120	336,238
	1 営業費用		317,937	120	318,057
		3 総係費	31,611	120	31,731

資本的収入及び支出

収 入			(単位：千円)		
款	項	目	既決予算額	補正予算額	計
1 資本的収入			125,632	120	125,752
	4 基金繰入金		630	120	750
		1 基金繰入金	630	120	750

支 出			(単位：千円)		
款	項	目	既決予算額	補正予算額	計
1 資本的支出			184,323	4,956	189,279
	1 建設改良費		14,920	4,956	19,876
		1 改良事業費	14,920	4,956	19,876

令和8年度棚倉町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位:千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	11,572
減価償却費	188,458
長期前受金戻入	△ 121,799
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	17
法定福利費引当金の増減額(△は減少)	247
受取利息及び受取配当金	△ 3
支払利息	16,929
固定資産除却損	1,968
固定資産売却益	△ 1
未収金の増減額(△は増加)	7,583
未払金の増減額(△は減少)	△ 2,576
その他流動資産の増減額(△は増加)	△ 6,573
小計	95,836
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△ 16,929
業務活動によるキャッシュ・フロー	78,910
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 18,070
有形固定資産の売却による収入	1
基金積み立てによる支出	△ 1
国県補助金による収入	6,100
分担金による収入	180
一般会計補助金による収入	0
受益者負担金による収入	1,322
基金取り崩しによる収入	750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,718
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	120,100
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 169,402
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 49,302
資金増加額(又は減少額)	19,890
資金期首残高	97,692
資金期末残高	117,582

令和8年度棚倉町下水道事業予定貸借対照表
(令和9年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部

1	固定資産			
(1)	有形固定資産			
イ	土地		97,881	
ロ	建物	648,406		
	減価償却累計額	<u>△70,414</u>	577,992	
ハ	構築物	4,257,135		
	減価償却累計額	<u>△440,017</u>	3,817,118	
ニ	機械及び装置	377,901		
	減価償却累計額	<u>△50,608</u>	327,293	
ホ	車両運搬具	585		
	減価償却累計額	<u>△555</u>	30	
ヘ	工具器具及び備品	801		
	減価償却累計額	<u>△221</u>	580	
ト	建設仮勘定		<u>20,151</u>	
	有形固定資産合計		4,841,045	
(2)	無形固定資産		0	
(3)	投資その他の資産			
イ	基金		28,452	
	投資その他の資産合計		28,452	
	固定資産合計			4,869,497
2	流動資産			
(1)	現金・預金		117,582	
(2)	未収金	4,620		
	貸倒引当金	<u>△14</u>	4,606	
(3)	貯蔵品		0	
(4)	その他流動資産		<u>15,202</u>	
	流動資産合計			137,390
	資産合計			<u>5,006,887</u>

(単位：千円)

負債の部

3	固定負債				
(1)	企業債				
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,449,573		
	ロ その他の企業債		4,900		
	企業債合計			1,454,473	
	固定負債合計				1,454,473
4	流動負債				
(1)	企業債				
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		142,071		
	企業債合計			142,071	
(2)	未払金				
	イ 営業未払金		18,268		
	未払金合計			18,268	
(3)	引当金				
	イ 賞与引当金		1,217		
	ロ 法定福利費引当金		488		
	引当金合計			1,705	
(4)	その他流動負債			100	
	流動負債合計				162,144
5	繰延収益				
(1)	長期前受金				
	イ 受贈財産評価額	0			
	収益化累計額	<u>0</u>	0		
	ロ 補助金	0			
	収益化累計額	<u>0</u>	0		
	ハ その他長期前受金	3,551,482			
	収益化累計額	<u>△364,521</u>	3,186,961		
	繰延収益合計				3,186,961
	負債合計				<u><u>4,803,578</u></u>

(単位：千円)

資 本 の 部

6	資本金		11,783	
7	剰余金			
(1)	資本剰余金			
	イ 受贈財産評価額	0		
	ロ 他会計補助金	62,125		
	ハ 国庫補助金	28,548		
	ニ 県補助金	5,945		
	ホ 県補助金	172		
	資本剰余金合計		96,790	
(2)	利益剰余金			
	イ 減債積立金	930		
	ロ 建設改良積立金	10,000		
	ハ 当年度未処分利益剰余金	83,806		
	前年度繰越利益剰余金			
	その他未処分利益剰余金変動額			
	当年度純利益			
	利益剰余金合計		94,736	
	剰余金合計			191,526
	資本合計			203,309
	負債資本合計			5,006,887

注記

I 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法	定額法による。
・主な耐用年数	
建物	15～50年
構築物	8～60年
機械及び装置	8～20年
車両運搬具	5年
工具器具及び備品	8～10年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法	定額法による。
・主な耐用年数	
施設利用権	20年

2 たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

当町は、退職手当組合に加入しており、下水道事業会計は当該組合に掛金を拠出しているが、一般会計との取り決めにより、下水道事業会計が当該組合に対して負担金を拠出して以降の追加的負担は全額一般会計において措置することとなっているため、下水道事業会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式による。

Ⅱ セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

棚倉町下水道事業会計は、公共下水道事業、農業集落排水事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから公共下水道事業、農業集落排水事業の二つのセグメントを報告している。

なお、報告セグメントに属する内容は以下の通りである。

公共下水道事業	公共下水道事業計画区域内におけるし尿及び生活雑排水の処理
農業集落排水事業	農業集落排水事業計画区域内におけるし尿及び生活雑排水の処理

2 報告セグメントごとの営業収益、営業費用、営業損益金額、経常損益金額、資産、負債、その他の項目の金額 (単位：千円)

	公共下水道事業	農業集落排水事業	合 計
営業収益	42,546	11,455	54,001
営業費用	237,106	70,790	307,896
営業損益	△ 194,560	△ 59,335	△ 253,895
経常損益	8,924	3,655	12,579
セグメント資産	3,837,686	1,169,201	5,006,887
セグメント負債	3,653,265	1,150,313	4,803,578
その他の項目			
下水道使用料	42,455	11,455	53,910
減価償却費	144,765	43,693	188,458
特別利益	3	0	3
特別損失	10	0	10
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	18,070	0	18,070

附 属 資 料

令和8年度棚倉町下水道事業会計補正予算説明

収 益 的 収 入 及 び 支 出

支 出

(単位：千円)

款	項	目	節	既決予算額	補正予算額	計	備 考
1 下水道事業費用				336,118	120	336,238	
	1 営業費用			317,937	120	318,057	
		3 総 係 費		31,611	120	31,731	一般事務費 120
			5 2 補 助 金	630	120	750	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	節	既決予算額	補正予算額	計	備 考
1 資本的収入				125,632	120	125,752	
	4 基金繰入金			630	120	750	
		1 基金繰入金		630	120	750	下水道等普及促進基金繰入金 120
			1 基金繰入金	630	120	750	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	節	既決予算額	補正予算額	計	備 考
1 資本的支出				184,323	4,956	189,279	
	1 建設改良費			14,920	4,956	19,876	
		1 改良事業費		14,920	4,956	19,876	施設改良事業費 4,956
			2 1 工事請負費	14,920	4,956	19,876	